

科目	ゼミナールⅡ(M)	担当	天野 圭二	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位
【授業目標・到達目標】					
<p>国際関係の中でもトランスナショナルな現象を主に扱う。中でも最も容易に国境を越えて流通するものとして、映像や音楽やテキストを題材に作品の文化的背景を研究する。ゼミナールⅡはゼミナールⅠでの研究成果をもとに、卒業論文に向けての準備作業として各自が卒業論文題目届の作成を行う。本ゼミでの到達目標は以下の通りである。</p> <p>1) 自らの興味に基づいて課題を設定し、研究計画を立て、結果を出すために必要な能力が身につく 2) 経営学部で学ぶ各専門科目が共用する基礎的専門知識を系統的、総合的に理解できる 3) 問題解決能力やアイデアや意見を論理的に創り上げる能力が身につく</p>					
【履修注意】					
<p>1: 議論への参加は必須。「座っているだけ」の参加は厳禁。また、ゼミへの参加は義務であるため、欠席厳禁。</p> <p>2: 中部地域、日本、世界で何が起きているのか、常にアンテナを張って観察しておくこと。</p>					
【評価方法】					
<p>プレゼンテーション(40点)、期末レポート(40点)、ゼミへの参加の積極性(20点)とする。レポートの構成は、卒業論文のタイトル(題目)、目次(構造図)、序章(概要)とする。未提出の場合、評価はDとし、再履修とする。</p> <p>公欠届、就職活動届、診断書無き遅刻・欠席は認めない。無断欠席の場合、評価をDとする。</p>					
【試験について】					
定期試験は実施しない。					
【予習・復習】					
自ら取り上げたテーマを熟知するまで検討(毎週最低90分以上)					
【教科書】					
【参考書】					
【その他の注意事項】					
【授業計画・内容】					
回数	項目	内容			
1	オリエンテーション	ゼミナール1の内容の総括、ゼミナール2の進め方の確認			
2	題目届作成準備	研究の現状確認。各自によるプレゼンテーション			
3	題目届作成準備	研究の現状確認。各自によるプレゼンテーション。以下、題目届の執筆を同時並行で行う。			
4	学術論文の執筆プロセス1	具体的な課題の設定方法			
5	学術論文の執筆プロセス2	研究の方法。社会調査法。エクセルによる統計資料分析の基礎			
6	学術論文の執筆プロセス3	研究の方法。社会調査法。エクセルによる統計資料分析の基礎2			
7	学術論文の執筆プロセス4	聞き取り調査の記述・分析方法個別指導			
8	学術論文の執筆プロセス5	理論と実証の関係。個別指導			
9	プレゼンテーション準備	プレゼンテーション概論。スライド構成の理論。			
10	プレゼンテーション	題目届に関するプレゼンテーションと個別指導			
11	プレゼンテーション	題目届に関するプレゼンテーションと個別指導			
12	題目届執筆	概要と構成。目次の作り方は適切か。			
13	題目届執筆	参考文献、資料は必要十分か			
14	卒業論文執筆準備	個別指導			
15	卒業論文執筆準備	個別指導			
16	卒業論文執筆準備	個別指導			